

高校生が学ぶ森づくり ～下川商業・士別翔雲高校の連携交流事業～

令和8年9月16日(水)、下川商業高等学校と士別翔雲高等学校の連携交流事業の一環として、上川北部森林管理署管内の下川町班溪国有林において森林整備作業(枝打ち)の体験学習を実施しました。当日は、両校の生徒が参加し、当署職員が講師を務めました。職員から枝打ち作業の目的や安全な作業方法について説明を受けた後、生徒たちは実際に造林地内での作業を体験。のこぎりの使い方について指導を受けながら丁寧に作業を進め、森林整備への理解を深めました。

枝打ちは、木材の品質向上や節の少ない良質な木材を育成するために重要な作業です。生徒たちは実際に作業を行うことで、森林を育てるためには植えるだけでなく、その後も長い年月をかけて手入れを続けることが必要であることを学びました。

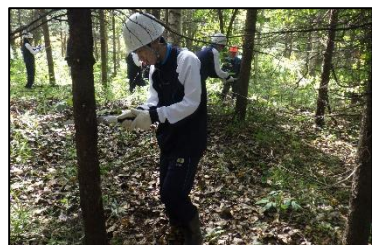
また、今回作業を行った造林地は、かつて下川鉱山として栄え、多くの住宅や関連施設が立ち並んでいた場所です。しかし、鉱山の閉山に伴い地域の姿が大きく変化する中で、跡地の緑化が進められ、町民をはじめとする多くの関係者の協力により植林が行われました。その結果、現在では豊かな森林へと再生し、新たな地域資源として受け継がれています。

当署職員からは、こうした地域の歴史や森林再生の歩みについても説明を行い、生徒たちは枝打ち作業だけでなく、人々の努力によって森林が育まれてきた背景についても理解を深める機会となりました。

参加した生徒からは、「森林の手入れが思った以上に大変だと分かった」「昔は住宅地だった場所が森林になっていることに驚いた」「地域の歴史と森林づくりのつながりを学ぶことができた」などの感想が聞かれました。

上川北部森林管理署では、今後も地域の学校や関係機関と連携し、森林・林業への理解促進や次世代を担う人材育成に向けた

取組を継続してまいります。



枝打ちに挑む生徒たち



手本を見せる若手職員

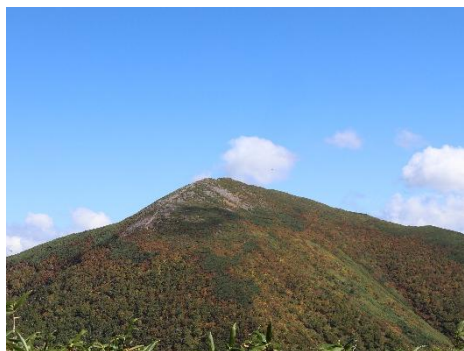


枝打ち指導する職員



熱心に説明を聞く生徒

今月の1枚



秋の装いを始めた前天塩岳

(令和8年9月17日貸付地の
実査調査の際に撮影)

未来のフォレスターを育てる(第三弾)

令和8年9月11日(金)、上川北部森林管理署、上川総合振興局北部森林室、下川町及び下川町森林組合の4者共同により、旭川農業高等学校森林科学科1年生を対象とした野外実習を下川町有林で実施しました。

実習では、森林の役割や森林づくりの大切さについて学んだ後、実際に苗木の植付作業を体験しました。生徒たちは職員の指導を受けながら、一つひとつ丁寧に苗木を植え、未来の森林づくりに挑戦しました。

また、ソフトバンク株式会社の協力のもと、デジタル技術を活用した最新の植付技術も体験し、スマート林業への理解を深めました。午後からは下川町で活動する地域おこし協力隊も参加し、高校生とともに植付作業を実施しました。

参加者からは森林づくりの楽しさや大変さを実感したとの声が聞かれ、林業への関心を高める貴重な機会となり、将来の林業を担う人材育成と地域との交流を深める有意義な実習となりました。



技術指導する職員



未来の担い手を育てる職員



スマート林業を学ぶ生徒たち

北海道森林管理局 Instagram も開設!



各署の取り組みを
随時掲載中!
みんな「いいね!」してね

<上川北部森林管理署>

北海道上川郡下川町緑町21番地4

☎ 01655-4-2551

<北海道森林管理局 HP>

北の森漫画も公開中!

